

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 健康教育支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111(内8712)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 1,521 千円 (前年度予算額： 1,521 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,521	0	0	0	0	0	0	0	1,521
要求額	1,521	0	0	0	0	0	0	0	1,521
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 性に関する教育は、LGBTQ+の正しい理解や性犯罪・性暴力対策等新たな課題への対応が求められている。専門医の協力を得ながら、人間尊重、男女平等の精神を基盤とした人間関係の在り方を重視した指導を推進する。
- 児童生徒をとりまく生活環境は大きく変化し、運動器疾患、メンタルヘルス、薬物乱用等、地域や学校の健康課題はますます複雑化、深刻化していることから、地域や学校の健康課題解決に向けた取組を支援していく。
- 小児科医を講師とした「命の教育」の授業を推進することで、健康教育の根底にある「生命尊重」の心を醸成し、より成果のある事業とする。

(2) 事業内容

- 地域や各学校の健康課題解決のために、大学教授や専門医等、地域の専門家を講師として派遣し、助言・支援・指導等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担（10/10）

- ・県内全域への事業であるため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	1,290	講師謝礼
旅費	231	講師等旅費
合計	1,521	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画

施策III 「健やかな体」の育成

17 健康教育と食育の推進

<取組の方向性>

- ・養護教諭を中心とした教職員研修の充実を図る。

- ・専門家を派遣し、各学校や地域のニーズに応じた教職員研修等の充実を図る。

(2) 事業主体及びその妥当性

県立高等学校及び県立特別支援学校への講師派遣等の支援であることから、設置者である県が負担することが妥当である。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

学校や各地域の健康課題を解決するために、県内各地区の研修会や学校に対する専門医等を講師とした派遣体制を構築する。「性に関する教育」の講師派遣については、令和6年度からの3年間で全ての県立学校で1度は講師が派遣できるよう進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①性に関する指導 講師派遣校	校	22校 22/87校	29校 58/87校	29校 87/87校	29校 58/87校	
②薬物乱用防止教室 開催率	%	96.7% (R5)	100%	100%	100%	
③健康課題解決事業 開催回数	校	1回	18回	18回	18回	
④いのちの授業開催校数	校	16校	15校	15校	15校	

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・性教育講師派遣事業については、令和3年度から3年間ですべての県立高等学校にて実施する計画であり、令和4年度は1／3校程度（27校）で実施した。
	指標① 目標：29校 実績：27校 達成率：93%
令和 5 年 度	・性教育講師派遣事業については、令和5年度は29校で実施し、3年間ですべての県立高等学校において性教育講話を実施することができた（学校独自の実施を含む）。
	指標① 目標：29校 実績：29件 達成率：100%
令和 6 年 度	・性教育講師派遣事業については、令和6年度から3年間ですべての県立高等学校及び特別支援学校にて実施する計画であり、令和6年度は22校で実施した。
	指標① 目標：29校 実績：22校 達成率：76%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	児童生徒の健康課題が複雑化、深刻化しているため、生命尊重を土台とした健康教育の推進が求められている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	講演後の生徒の感想では、専門医の講話から新しい気付きを得たり、自分の生活改善につなげようとしたりする趣旨のものが多い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	実施する学校を各地区で計画してもらうことで、3年間の見通しをもった実施ができるようになった。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

より学校のニーズに応じた内容となるよう、事前打合せを丁寧に進めていく必要がある。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
計画に沿って、2年目の事業を進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	